

令和5年度

「運営に関する計画」

最終評価

大阪市立高殿南小学校

大阪市立高殿南小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、教職員自身が学び続ける力を付けること（資質の向上）を基本姿勢として臨み、教育振興基本計画をふまえ、学力及び体力の向上、思いやりや志の醸成、健康な心身の育成を図ってきた。

安全・安心な学校づくりには「いじめは絶対に許されない行為である」ことを徹底するとともに、異学年でのたてわり活動でも、認め合う集団づくりを基本にすすめてきた。また、「学校のきまり・規則を守っています」に肯定的に回答する児童の割合は、目標を上回った。

学力の向上においては、本校の児童は、令和3年度、6年生対象の全国学力学習状況調査においても、3年生から6年生対象の大阪市小学校学力経年調査においても多くの項目において、大阪市平均や全国平均を上回った。それは、国語科においては、基礎・基本となる言葉の力を身につけさせる指導を重点的に行ってきたり、算数科においては、自分の考えを説明する指導やまとめと振り返りを毎時間の終わりに位置付けてきたりした成果が表れてきたと考える。しかしながら、令和3年度の全国学力・学習状況調査の児童質問紙において「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」や「学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどのくらいの時間、勉強をしますか」の項目で、大阪市・全国平均に比べ大きく低い結果となった。第2教育ブロックの教育予算を活用し、動機づけをはかり、家庭での学習に取り組ませたい。

体力の向上においては、なわとび、かけ足、体力向上週間（ミナミンピック）等、体力づくりの期間を設け、集中的に取り組ませることで興味を持って、体力づくりをする児童が増えた。また、課題であった「走る」「投げる」は、令和3年度は、大阪市・全国平均をも上回る良好な結果となったが、「握る」運動については、まだ大阪市・全国平均にはいたっていない。今後は、運動することが好きな児童をもっとふやすことと並行し、基礎になる動きからその運動につながるといったような科学的な根拠に基づく運動も取り入れたい。

中期目標

【安心・安全な教育の推進】

○令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を99%にする。(R3 98%)

○令和7年度の全国学力学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。(R3 80%)

○令和7年度の学校生活アンケート（保護者）における「学校は、あいさつが進んでできるように取り組んでいる」の項目について、最も肯定的な「思う」に回答する保護者の割合を70%以上にする。(R3 63%)

○令和7年度の学校生活アンケート（児童）における「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目に、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。

(R4～新設)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、令和3年度より向上させる。

○令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、令和3年度よりも向上させる。

○令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和3年度よりも向上させる。

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を令和3年度よりも向上させる。

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の握力の記録を、令和3年度より4ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

○全国学力・学習状況調査の「5年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を毎年向上させる。

○ゆとりの日を週に1回設定する。また、学校閉庁日について、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

○令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。(R3 75%)

○令和7年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安心・安全な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

○令和5年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。(R4 88.1%)

○令和5年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を、前年度より減少させる。(R3 0.51%) (R4 1.03%)

○令和5年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

○令和5年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を82%以上にする。(R3 80%) (R4 93%)

○令和5年度の学校生活アンケート（保護者）における「学校は、あいさつが進んでできるように取り組んでいる」の項目について、最も肯定的な「思う」に回答する保護者の割合を65%以上にする。(R3 63%) (R4 56%)

○令和5年度の学校生活アンケート（児童）における「災害や防災は自分に起こるかもしれない事として行動できた」の項目に、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。(R4 新設) (R4 98%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○令和5年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。(R3 43%) (R4 49.3%)

○令和5年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。国語(R4 1.03) 算数(R4 1.09)

○令和5年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.8%以上にする。(R3 88.2%) (R4 75.8%)

○令和5年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86.1%以上にする。(R3 85%) (R4 86.1%)

○令和5年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を75.2%以上にする。(R3 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 66.7%) (R4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 75.2%)

学校園の年度目標

○令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の握力の記録を、令和3年度より1ポイント向上させる。(R3 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 13.42)

(R4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 17.26)

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

○令和5年度の全国学力・学習状況調査の「5年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を前年度より向上させる。(R3 3.4%)(R4 35.7%)

○ゆとりの日を、週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

(R4 ゆとりの日 2週に1回 夏季休業閉庁日4日 冬季休業閉庁日3日)

学校園の年度目標

○プログラミング教育の指導の充実を図るとともに、teamsの活用を図る。

○令和5年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を、77%以上にする。(R3 75%) (R4 83.3%)

○令和5年度末の教育アンケート（保護者）の「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、70%以上にする。(R4 新設)

(R4 88%)

3 本年度の自己評価結果の総括

【安心・安全な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

○令和5年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を89.8%であった。目標としていた90%をわずかに下回った。

○令和5年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率は、令和5年度は、0%となり前年度の1.03%より減少した良い結果となった。

○令和5年度末の校内調査において、本年度から新たに不登校になった児童はいないので、改善の割合は100%となった。

学校園の年度目標

○令和5年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的な回答は93%であり、目標としていた82%を上回った。

○令和5年度の学校生活アンケート（保護者）における「学校は、あいさつが進んでできるように取り組んでいる」の項目について、最も肯定的な「思う」に回答する保護者の割合は65%であり、目標である65%に達した。

○令和5年度の学校生活アンケート（児童）における「災害や防災は自分に起こるかもしれない事として行動できた」の項目に、肯定的に回答する児童の割合は98%であり、目標の50%以上を大きく上回った。

学校に行くのが楽しいと思っている子どもが多いことが、何よりも良い結果となった。あいさつの取り組みは学校日より、ホームページで発信したことにより、保護者の認知が広がった。災害の際、自分の身を守ることを考えられるようこれからも指導を継続する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○令和5年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合が57.8%となり、目標であった50%以上を達成した。

○令和5年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、前年度より0.01ポイント向上させるであったが、国語は前年と変わらず1.03で、算数は、1.03で、0.01ポイント向上させる目標には届かなかった。

○令和5年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は84.9%であり、目標としていた75.8%を上回った。

○令和5年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は92.2%であり、目標としていた86.1%を上回った。

○令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合は58.0%で、目標の75.2%以上には届かなかった。

学校園の年度目標

○令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の握力の記録は14.86であり、令和4年度より1ポイント向上させたので目標を達成した。

理科において、「なぜだろう？」「どうしてかな？」と思う気持ちをもって学習に取り組んでいることが理科を好きと答える児童が多い結果となったと考える。

全国体力・運動能力、運動習慣調査において、「運動を好き」と回答する児童は減ったものの、本校の課題であった握力が昨年も今年も目標に達したのは、ミナミニックでの取り組みによって、運動の特性に応じた練習ができていることに成果が表れた。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

○令和5年度の全国学力・学習状況調査の「5年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合は31.8%であり、前年度の35.7%には届かなかった。

○ゆとりの日は、週1回の設定目標であったが、現状2週に1回であった。学校閉庁日については、夏季休業期間中については、昨年度より1日多い5日間を閉庁日とした。また、冬季休業中は、昨年度と同じ3日間を閉庁日とし、目標を達成することができた。

学校園の年度目標

○プログラミング教育の指導は高学年の算数科・理科で行った。Teams は、児童朝会でもよく活用した。

○令和 5 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合は 78.3%であり、目標の 77%以上を達成した。

○令和 5 年度末の教育アンケート（保護者）の「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合は 93%であり、目標の 70%以上を達成した。

ICT 機器の活用率は、大阪市教育センターICT 研修企画グループからも、どのような取り組みがなされているのか問い合わせがあったほど活用率が高かった。「心の天気」の入力、授業での SkyMenu 活用など、文房具として使える児童が増えてきた。

読書については、本年度は、本校の取り組みを認めていただき、財団法人より図書の寄贈をいただいた。今後も読書の指導はしていきたい。

今後も、ホームページは週に 3 日はあげるようにし、学校の様子を知っていただいたり、ミマモルメの連絡機能を使って保護者に連絡したりすることを続ける。

大阪市立高殿南小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【3つの最重要目標】</p> <p>【安心・安全な教育の推進】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○令和5年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。(R4 88.1%)</p> <p>○令和5年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を、前年度より減少させる。(R3 0.51%) (R4 1.03%)</p> <p>（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）</p> <p>○令和5年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○令和5年度末の校内調査における「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を82%以上にする。(R3 80%) (R4 93%)</p> <p>○令和5年度の学校生活アンケート（保護者）における「学校は、あいさつが進んでできるように取り組んでいる」の項目について、最も肯定的な「思う」に回答する保護者の割合を60%以上にする。(R3 63%) (R4 56%)</p> <p>○令和4年度の学校生活アンケート（児童）における「災害や防災は自分に起こるかもしれない事として行動できた」の項目に、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。(R4 新設) (R4 98%)</p>	<p style="font-size: 48px;">A</p>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）</p> <p>定期的にアンケート等を実施して、いじめや問題行動の早期発見に努める。いじめや問題行動、不登校など、児童の様子について教職員間で交流し、共通理解をはかる。ケースによっては、スクールカウンセラーや子ども相談センターと連携していく。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童理解研修会を月に1回実施し、共通理解と対策について話し合う。 ・スクールライフノートを毎日確認し、子どもの悩みの早期発見に努める。 <hr/> <p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なアンケートで明らかになった事案は、該当児童への丁寧な聞き取りや、指導することで早めの対応を心がけた。 ・月に1回の児童理解研修会では、全教職員で気になる児童について共通理解することができ、早急に対策をとることや、該当児童に気を配ったり見守ったりすることができた。 ・スクールライフノートを毎日確認し、児童の心の変化に気づくことができ、必要に応じて声掛けをすることで児童の悩みの早期発見に努めた。 ・スクールカウンセラーと連携し、児童の悩み等に向き合い、解決に努めた。 ・生活指導部会を学期に1回行い、各学年での生活指導上の事案を共有した。 <hr/> <p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して、全教職員で児童にとって安全安心な学校であるように児童理解・共通理解に努め、対応していく。 ・必要に応じて、外部機関と連携して対応していく。 	A
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童の規律は、「あいさつ」と「掃除」からとらえ、定着を図る。</p> <hr/> <p>指標 「あいさつ週間」「クリーンアップ週間」などを学期に1回実施する。</p> <hr/> <p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員の児童が中心となって、あいさつをする「あいさつ週間」の取組を毎月実施することや、朝の校門での教職員による率先したあいさつ、朝会指導など学校全体での取組によって、児童の「あいさつ」への意識が向上してきた。その結果、登校時に主体的にあいさつできる児童が増えてきた。 ・環境美化委員会や、教職員の指導により「クリーンアップ週間」を計画通り実施した。環境美化委員会による校内放送や教職員の指導によって、丁寧に掃除ができる児童が増えてきた。また、「クリーンアップ週間」以外でも、一生懸命掃除をする姿が定着してきている。 <hr/> <p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登校時の校門での教職員へのあいさつだけではなく「いつでも」「どこでも」「誰とでも」気持ちのよいあいさつができるように継続して指導していく。 ・そうじ用具の正しい使い方を指導する。 	A

<p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 安全教育、防災・減災教育を推進する。</p>	
<p>指標 各種避難訓練を各学期に1回実施する。 地域・区役所と連携をした防災訓練を行う（年1回） 引き渡し訓練を行う（年1回） 5・6年生に警察と連携した防犯教室を行う。（年1回）</p>	
<p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間計画通りに避難訓練や防災訓練、引き渡し訓練、防犯教室が実施された。 ・ 学校アンケートの結果からも、子どもたちの防災への意識が非常に高い（肯定的回答が98%）ことが分かり、日頃からの安全教育への成果が出ていると言える。 	A
<p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度も取り組みを確実に実施する。 ・ 休み時間に発災した場合の避難訓練の実施。（現行は4月火災、9月地震津波・880万人訓練連動、2月不審者で、すべて授業時間内）休み時間の発災想定訓練を創設するか検討する。 ・ 土曜日の防災訓練への保護者の参加を検討する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の醸成】 学校・地域・家庭との交流活動や宿泊行事、芸術鑑賞など実体験を伴ったホンモノに触れさせることで、豊かな心の育成を図る。</p>	
<p>指標 一人一鉢の栽培活動、芸術鑑賞会（年1回）、社会見学（年1回）を行う。 ゲストティーチャーを招聘した授業（全学年 年1回）実施</p>	
<p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一鉢の栽培活動や校内で飼っている金魚やメダカなどの生き物に触れ合うことで豊かな心の育成を図ることができた。 ・ それぞれの学年の学習内容に関連した内容や指標に応じた取り組みだけでなく、大阪シオンウインドオーケストラの公演などホンモノに触れる機会も作ることができた。 	A
<p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 抽選など申し込みが必要なものは、引継ぎを行っていく。抽選に当たらないければ、多額の予算がかかってしまう。 ・ 継続的な取り組み ・ 一人一鉢の水やりを丁寧に行う。 	

<p>取組内容⑤ 【基本的な方向2 豊かな心の醸成】</p> <p>人権教育読本や資料等の活用、体験活動などを通して、集団育成や障がいのある児童とともに学びともに生きる取組、平和を願う取組、隣国のことを知る取組などを進める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内人権教育実践交流会において、全学級の取組を報告するとともに、旭区人権教育実践交流会の分科会において、実践報告を行い取組について交流する。 ・車いす体験などの体験活動や外部の人材を招聘した学習を年間1回以上実施するとともに、広島への修学旅行など平和学習に基づく取組を継続的に行う。 	
<p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内人権教育実践交流会を計画通り行った。また、旭区人権教育実践交流会の分科会において、本校5年生の取組を発表し、交流することができた。これらの交流会が、教職員の良い研修の場になった。 ・各学年の実態に応じて、体験活動や外部の人材を招聘した学習を実施することができた。また、各学年の平和学習、折り鶴集会、広島への修学旅行前後の平和集会など全校をあげての取組を継続して行うことで平和についての学習を進めることができた。 	A
<p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内実践交流会を今後も継続する。 ・広島への修学旅行に向けた取組を継続する。 	
<p>取組内容⑥ 【基本的な方向2 豊かな心の醸成】</p> <p>わたしたちが住む町や旭区、郷土大阪の歴史や文化にふれる体験学習を実施する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の指導内容に応じて、大阪の社会教育施設、公共施設の見学や、町たんけん、公園たんけんを実施する。 	
<p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画通り学年の実態に応じて社会見学や町探検、公園探検などが実施され、地域の歴史や文化自然に触れる体験学習ができ、子どもたちの興味関心や学びを深めることができた。 	A
<p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の記録の引継ぎをしていく 	

<p>評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった</p>	<p>達成 状況</p>
<p>【3つの最重要目標】</p> <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○令和5年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。（R3 43%）（R4 49.3%）</p> <p>○令和5年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</p> <p>国語(R4 1.03) 算数(R4 1.09)</p> <p>○令和5年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.8%以上にする。（R3 88.2%）（R4 75.8%）</p> <p>○令和5年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86.1%以上にする。（R3 85%）（R4 86.1%）</p> <p>○令和5年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を75.2%以上にする。（R3 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 66.7%）（R4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 75.2%）</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の握力の記録を、令和4年度より1ポイント向上させる。（R3 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 13.42）（R4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 17.26）</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の握力の記録を、令和4年度より1ポイント向上させる。（R3 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 13.4）（R4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 17.26）</p>	<p>B</p>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①（基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上）</p> <p>さまざまな教科学習において、理由をつけて自分の考えを述べる力の育成を図る。</p> <hr/> <p>指標 ・ 教員の公開授業を年間10回以上実施する。</p> <p>・ 授業研究会（年6回）に外部講師を指導要請し、研究協議を実施する。</p> <hr/> <p>進捗状況</p> <p>・ 公開授業を年間10回以上実施し、複数の教科で授業研究が行われた。研究教科の算数科においては、研究討議会が6回もたれ、同じ外部講師による的確で一貫した指導を受け、研究を深めて成果を上げることができた。教員の指導力が高まり、算数科を中心とした日々の授業においても、研究を通して得た知識や技能を用いて実践することができた。また、算数科を中心に多くの教科にわたって、理由をつけて話す場を設けてきた結果、自信をもって自分の考えを話す児童が増えた。児童の話に耳を傾けながら授業を組み立て、一人一人を大切に学習の実践が進んだ。</p> <hr/> <p>次年度への改善点など</p> <p>・ 学力経年調査等の結果の分析をし、それに見合った対策を講じていく。</p> <p>・ 各学年の算数科資料の保存</p> <p>（公開授業10回以上、一人一授業の実践の継続をし、指導力の向上を図る。）</p>	A
<p>取組内容②（基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上）</p> <p>個に応じた指導を工夫することで、学習意欲を高め、主体的な学習態度を育み、基礎学力の定着を図る。</p> <hr/> <p>指標 ・ 単元テストにおいて、平均正答率を75%以上にする。</p> <hr/> <p>進捗状況</p> <p>・ ティームティーチングや習熟度別学習といった学習形態を取ることや、特別に支援を要する児童をはじめ、個に応じた支援・指導を行ってきたことで、主体的に学習に取り組める児童が増えた。また、反復練習や自主学習の継続もし、基礎学力の定着に取り組んできた結果、指標である単元テストの平均正答率75%を上回ることができた。</p> <hr/> <p>次年度への改善点など</p> <p>・ 基礎学力のさらなる定着を図るための、学力経年調査等の結果の分析と対策</p> <p>・ 習熟度の低い児童に対しての個別支援・指導の継続と体制づくりの検討</p> <p>・ 主体的な学習態度を育む学習展開の工夫</p>	B

<p>取組内容③（基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上）</p> <p>Dream を使用し、英語の歌等を活用した音声指導を重視した学習を1～4年で実施し、英語に慣れ親しむとともに、体験的な活動を取り入れた授業づくりを行う。また、5・6年生の外国語科では、英語で身近な事柄について聞いたり話したり、内容を推測しながら読んだり、自分の考えや気持ちを書いて伝えあうことができるような力を育成する。</p> <p>指標 ・全学年で週2回、15分の「英語モジュールタイムに」に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語、外国語活動の指導力向上のために、年間1回以上の校内研修を実施する。 ・令和5年度の小学校学力経年調査で、「英語が好き」と答える児童の割合を 86.1%以上にする。(R3 85%) (R4 86.1%) 	B
<p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モジュールタイムを計画的に実施することができ、英語に慣れ親しむ機会になった。また、講師を招いて外国語についての指導力向上のための研修会を実施し、すぐに授業に生かせることを学べ、日々のモジュールタイムがより充実したものになった。 ・C-NETと連携しながら楽しく身に付く外国語学習が展開された。 	
<p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C-NETと連携しながら子どもたちが英語に慣れ親しめる活動に引き続き取り組んでいく。 ・モジュールタイムを週2回15分ずつ取れるように時間確保に努める。掲示物や音楽放送で日常的に英語にふれる機会を作っていく。 	
<p>取組内容④（基本的な方向5 健やかな体の育成）</p> <p>運動量を確保した体育の授業を工夫するとともに、運動強化週間を設定し、体力づくりを行う。</p> <p>指標 ミナミンピック等の体育的行事を年に2回設定し、運動に親しむ機会とする。</p> <p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動強化週間として、「ミナミンピック」と「かけ足タイム」を実施した。「ミナミンピック」では、運動の特性に応じた様々な場の設定により、子どもたちは楽しみながら体を動かしていく中で、いろいろな運動技能を身に着けることができた。 ・「かけ足タイム」は、体力作りに主眼を置いた取り組みで、子どもたちの基礎体力の向上を目指して実施した。 ・どちらも「がんばりカード」を児童一人ずつに用意し、各自がめあてをもって取り組むことができた。 <p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かけ足タイム」は、冬場の流行性感冒の影響を強く受けるので、設定期間の工夫を検討する。 	A

取組内容⑤ (基本的な方向5 健やかな体の育成)

新型コロナウイルス感染症予防をはじめ、けがや病気の予防、自身の健康を考える児童を育成する。

- 指標
- ・「保健だより」、「食生活だより」を月に1回発行し、内容を指導する。
 - ・健康週間を学期に一回設定し、児童への啓発を図る。

進捗状況

- ・「保健だより」「食生活だより」「食育ニュース」が適宜発行され、子どもたちにそれをもとに指導したり、掲示したりするなどしてきた。
- ・健康週間には、生活アンケートを実施して、清潔で健康な生活ができるよう意識づけを行ってきた。また、今年度はふりかえりの欄を設け、結果を受けて次に改善するよう促してきた。
- ・健康委員会による廊下掲示も充実していた。

次年度への改善点など

- ・アンケートの文言の修正を検討する。
 - 学校アンケート「手洗いをきちんとできますか」を「していますか」
 - 生活アンケート「ねる／起きる時刻を決めているか」を「守れたか」
- ・コロナ5類移行に伴う保健指導を確認する。(うがいの励行のよびかけなど)

A

大阪府立高殿南小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【3つの最重要目標】</p> <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <p>○令和5年度の全国学力・学習状況調査の「5年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を前年度より向上させる。(R3 3.4%)(R4 3.57%)</p> <p>○ゆとりの日を、週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。 (R4 ゆとりの日 2週に1回 夏季休業閉庁日4日 冬季休業閉庁日3日)</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○プログラミング教育の指導の充実を図るとともに、teamsの活用を図る。</p> <p>○令和5年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を、77%以上にする。(R3 75%) (R4 83.3%)</p> <p>○令和5年度末の教育アンケート(保護者)の「学校は家庭・地域との連携を密にしているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、71%以上にする。(R4 新設) (R4 88%)</p>	B

<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p>進 捗 状 況</p>
<p>取組内容①（基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進） 一人一台PC・大型モニター・プロジェクター・書画カメラ等を活用し、授業の中でICT 機器の活用を図る。</p>	<p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>
<p>指標 月20回以上、ICT機器を活用した授業を行う。また、月1回以上、児童自身 がICT機器を使った学習を行う。（プログラミング学習、Teamsの活用等も含む）</p>	
<p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ毎日の授業でICT機器の活用ができ、指標の月20回以上を十分に達成できている。 ・ 全クラスに大型モニター・書画カメラが設置できた。 ・ SkyMenuをはじめ、Forms、Teams、デジタルドリルなど様々な授業の中で効果的な活用を図ることができた。 ・ 市内のICT活用率が高い。 	
<p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一台PCの不具合が目立ち、故障することも多い。 ・ ICT支援員との更なる連携を図る。 ・ 指導者の知識・技能の向上を図る。 ・ 作成した資料・教材の整理・蓄積 	
<p>取組内容②（基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり） 行事の精選や会議の効率化など働き方改革を進め、時間外勤務時間の減少を図る。</p>	<p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p>
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 週に1回「ゆとりの日」を設定する。 ・ 夏季休業に3日以上、冬季休業に2日以上学校閉庁日を設定する。 	
<p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期休業期間中の学校閉庁日は指標通り設定できた。また、月に2回「ゆとりの日」も設定できた。 	
<p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度も長期休業期間中の学校閉庁日を設定するとともに、「ゆとりの日」については週1回の設定と実現に向けて会議の精選や行事の見直しを行う。 	

<p>取組内容③（基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進） 各学年でできることを系統立て、機器に慣れや習得をさせる。 1年写真を撮る。 2年お絵描き（トラックパッドに慣れる） 3年キーボードに慣れる 4年キーボードを習得する 5年プレゼンテーションに慣れる 6年プレゼンテーションをする</p>	B
<p>指標 低学年では、ディスプレイパネルやトラックパッドを、中学年ではローマ字入力でのキーボード打ちを、高学年ではパソコンを使用し、プレゼンテーションができるようになる。</p>	
<p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年に応じた取り組みができており、着実に機器活用技能を身につけることができている。 ・ 3年生以上は、キーボードに慣れ・習得するためにタイピングソフトを活発に取り組んだ。 ・ タイピングが上達すると、インターネットでの検索やプレゼンテーションの技能も大きく上達させていくことができた。 	
<p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年の目標は、適当であるが、キーボードの習得に個人差が大きく見られるため、更に機器の活用を図り、タイピングの習得率を向上させていく。 ・ 可能な限り、次年度の指標内容にも取り組んでみるようにする。 ・ 各学年の指標技能の習得に個人差が見られるため、全員の習得が難しい。習得率を設定すると目標が達成しやすい。 	A
<p>取組内容④（基本的な方向8 生涯学習の支援） 学校図書館の整備（蔵書の整理、データベース化等）に努めるとともに、児童の学校図書館を活用した学習・読書活動を推進する。</p>	
<p>指標 ・「おはなしたい」の方をゲストティーチャーとして招く（年1回）。 ・ 読書週間で、子どもに読書を啓発する取り組みを図書ボランティアの方と協働して行う。</p>	
<p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おはなしたい」の方を招き、本に親しむ時間をもてた。 ・ 読書週間では、委員会のビンゴカード・ボランティアのしりとり本さがし・読み聞かせ等に取り組むことで、児童の読書への意欲につながった。 ・ 雨の日に図書館開放することで、読書活動を推進した。 ・ 	A
<p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級文庫の整備に努める。 ・ 読書タイムとして時間を確保して、本に親しむ機会を設ける。 	

<p>取組内容⑤ (基本的な方向9 家庭・地域との連携・協働した教育の推進)</p> <p>学校で行っている教育活動の内容を保護者や地域にしっかりと伝え、地域学校協働活動を推進する。</p>	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校だより」、「学年だより」を毎月発行する。 ・学校ホームページは、週に3回以上更新するとともに、急な連絡は保護者メールを活用し確実に情報を伝える。 	
<p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に「学校だより」「学年だより」を発行し、保護者に本校の教育活動を伝えることができた。 ・学校ホームページは、おおむね週に3回以上更新するとともに、急な連絡やお知らせは保護者メール（ミマモルメ）を活用することができた。 	
<p>次年度への改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力テストや経年調査の結果などを職員に周知し、共有していく。(紙でほしい) ・次年度も、学校だよりや学年だより、ホームページで教育活動を伝えていく。 ・ミマモルメをより活用できるようにしていきたい。宿題や持ち物などを個別に送信できる活用を進めたい。 	